



東京府豊島
師範學校教諭

山本正夫著

音
樂
の
學
習

東京大明堂發行



月

Andante



月

犬童球溪作歌

一、思へば遠き昔より、
 數多の人のながめけん、
 見れば今宵もありくと、
 故人を映す月のかげ。

二、千々に物こそ忍ばれて、
 亡き人のみぞ慕はるゝ、
 月の鏡は曇らねど、
 眼にいとど露しげし。

のに適して居る。之を識別するには、樂曲の始めに注意すればよい。即ち、一度、三度、五度で始まり、終りは殆んどの場合一度(主音)で終るものである。

短音階は、其の性質、閑雅、悲壯、陰鬱、悲哀等の感情を表現するに適當してゐる。短音階か否かを鑑別するには、その樂曲を奏唱して見れば、その感じで大抵はわかるものであるが、樂曲の始めの音が大き抵は、ラであるか、又ミ等であつて、終りは多くの場合ラで畢るのでわかる、又樂曲の途中の臨時記號によつても判るものである。

律法は、優美、高雅、高尚なる感じを表現する時に適當してゐる。此の曲の始めは、大抵「ラ」か「レ」又は「ミ」である、終りは大抵「レ」である。「君が代」等は「レ」で始まり、「レ」で終つてゐる。

陰旋法は、優婉、悲哀、陰氣なる氣分を表現するに適當してゐる、樂曲の始めは、「ミ」とか「ラ」で始まり、終りも同様である。是は又、音階の使ひ方がすぐ判明する、即ち、曲の調子と、此音階の下行と、7643と云ふ音列を主とした旋律であつて、而も第五音(上符)の變化によつて、わかるものである。

二十、調子論

既述の如く、ハ調長音階を基礎として、上方五度に移調する時は、七種の嬰種長音階を構成することが出來、又下方五度の移調によつては、同じく七種の變種長音階を構成することが出來るのである。又イ調短音階を基礎としても同じく、七種の嬰種短音階、七種の變種短音階を構成し得るのである。

である。況んや教育者たらんとする人に於てをやである。わけて検定試験規則の何條かに、「不正の方法によつて、試験を受けむとしたものは受験資格を喪失する。」との明文があるのを知らねばならぬ。

三、受験場にて 先づ規則に従へ。如何なる微細なことでも、「受験者心得」の示して居ることに違背しないやう注意を要する。期日がちがつたり、時間を誤つたり、順序や行動を誤つたりすると、折角學科や技術に於て立派に合格して居る人が、遂に九仞の功を一簣で水泡に委する場合が多い。洵に惜しむべく恨むべき事である。

次はよく落着いて何事にも萬全を期すべく、努力することが大切である。決して輕率であつたり、急速であつたりしてはならぬ。尤も悪いのは、自分で勝手に見きわめをつけて、棄權をしたり、自暴自棄になつたり、中絶中止、中弛みしたりする事である。一失あらば必ず一得を以て取戻せ、一敗あらば直ちに一勝を作れ。ねばり強く、寧ろ押し強く、謹嚴に、誠實に、一身を挺して、心一ぱい、力一ぱい、汝の爲し得る最善を盡し、必ず頑張り通すべきである。讀者諸君の大成功を希望して已まぬ。經に曰く

「最後まで忍ぶものは幸也。」

音樂の學習終

昭和五年七月十三日印刷
昭和五年七月十六日發行

音樂の學習

定價金貳圓八拾錢

不許複製

著者 山本正夫
發行者 東京市神田區小川町三十七番地 神戸文三郎
印刷者 東京市牛込區榎町七番地 竹内喜太郎

發行所

東京市神田區小川町三十七番地
電話 神田 二二三二九番
振替東京 四七七八八番

大明堂書店

一行印社會式株刷印請日一